

氏名	大塚 斉	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	児童福祉 社会的養護 家族支援				
学位	修士（心理学）				
学歴	2001年3月信州大学人文科学部人間情報学科卒業（文学士） 2004年3月東京都立大学人文科学研究科前期課程修了（心理学修士）2010年3月東京都立大学人文科学研究科後期課程満期単位取得退学				
経歴	2003年5月より社会福祉法人武蔵野会武蔵野児童学園心理療法担当職員（非常勤）2010年4月より同施設、治療指導担当職員（常勤）2016年4月同法人主任 2023年4月埼玉県立大学社会福祉子ども学科教授				
所属学会（役職）	日本心理臨床学会（広報委員） 日本子ども虐待防止学会(代議員) 日本家族心理学会 日本家族療法学会 日本遊戯療法学会（編集委員）				

【2025年度実績】

1. 研究業績									
(1) 著作(著書及びその他の著作物)									
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名		発行等年月	
1	心理演習 体験を通して学ぶ公認心理師の基本スキル① 12章【事例】福祉分野における心理面接の実際	共著	あり	遠見書房 246P 担当箇所 p139-147		大塚斉著 日本公認心理師養成機関連盟 編		2025.7.15	
2	こころの科学244 「自分が嫌い」という沼 支援者が「自分が嫌い」になるとき	共著	あり	日本評論社 128P 担当箇所 p71-75		大塚斉著 平島奈津子 編		2025.11.1	
(2) 論文									
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名		発表等年月	
1	該当なし								
(3) 学会発表									
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)		発表等年月		
1	ポスター「児童福祉施設職員の育ちの語り」	共同	日本子ども虐待防止学会 第31回 北海道大会		○大塚斉 内海新祐 増沢高		2025.11.16		
(4) その他									
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)		発表等年月		
1	該当なし								
2. 競争的資金等の研究									
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間			
1	該当なし								
3. 教育業績									
(1) 講義									
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)					
1	人間関係とコミュニケーション	○	15	1年生中心に全学科の学生が広く履修しているため、広く対人援助職に役立つシステムやコミュニケーションについて、グループワークや実際の面接ビデオ等を用いながら、体験的に学ぶ機会を提供した					
2	臨床心理学	○	15	臨床心理学の基礎知識、多領域で共通して利用可能なエッセンスを中心に学ぶ機会とした					
3	院 健康支援カウンセリング論	○	15	大学院科目にて、多領域で活かせる臨床心理学的視点を提供する。仕事しながらの方も多いため、夜の時間帯でオンラインを入れながら実施。					
4	院 子ども若者支援論		2	オムニバス形式の2コマを担当。看護や養護教諭等、今度虐待問題とかかわる可能性のある院生もあるので、広く社会的養護の子どもたちの状況が伝わるようにした。					

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク特論Ⅳ	○	15	家族支援の基礎理論、基礎技術をロールプレイを撮影して、振り返り学ぶ等、実践的な学びを深めた
2	ソーシャルワーク演習Ⅰ		15	1年生にソーシャルワークの基礎に関する体験的な学びをサポートした
3	社会福祉専門演習Ⅰ	○	15	3年次ゼミにて、心理援助の事例について学んだ
4	社会福祉専門演習Ⅱ	○	15	3年生ゼミにて、卒業研究の基礎について学んだ
5	社会福祉専門演習Ⅲ	○	15	4年生ゼミにて、卒論の指導を行った
6	社会福祉専門演習Ⅳ	○	15	4年生ゼミにて、卒論指導と国家試験対策を行った
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		学内15コマ 学外実習2月～3月	初めてのソーシャルワーク現場実習の準備として、事前の学び、準備、実習訪問等で担当グループの学生に指導した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2025.11	主指導 5名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	埼玉家庭裁判所 少年友の会 学生ボランティア顧問	2023年4月～現在	少年友の会への学生ボランティアの研修会等に参加。3学年を対象に家庭裁判所の見学会も実施し、引率した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県児童福祉司任用後研修	埼玉県子ども安全課	児童相談所児童福祉司を対象とした研修	2025.9.29
2	埼玉県児童相談所一時保護所研修	埼玉県子ども安全課	一時保護所職員を対象とした研修	2025.11.7
3	埼玉県要保護児童対策調整機関の調整担当者研修（児童福祉司任用前講習会）	埼玉県子ども安全課	要対協の担当者に向けた研修「子どもの成長・発達と成育環境」「子どもの生活に関する諸問題」	2026.1.9
4	越谷市 児童虐待防止啓発研修会	越谷市子ども家庭センター	児童養護施設からみた子どもと家族	2026.1.27
5	国立武蔵野学院中堅研修	国立武蔵野学院	子どもにとって家族とは何か	2026.1.21
6	春日部保健所引きこもり専門相談	春日部保健所	春日部保健所にて事例検討SV	年6回
7	社会福祉法人晴香 事例検討講師	社会福祉法人晴香	児童家庭支援センターオリーブ/ルッカ 事例検討講師 職員SV	2025.4～2026.1
8	社会福祉法人武蔵野会 職員研修	社会福祉法人武蔵野会	武蔵野児童学園新任研修・中堅研修「アセスメント」、八王子地区事例検討講師	2025.4～2026.2
9	社会福祉法人ベタニヤホーム 事例検討講師	社会福祉法人ベタニヤホーム	児童家庭支援センターこうのだい 事例検討講師	5/30、8/7
10	埼玉県立大学 卒業生保健師勉強会	埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科	児童福祉施設からみた子どもと家族－保健師に知ってほしいこと	2026.3.7

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 埼玉県福祉人材センター	運営委員 副会長	2025.4～2027.3	
2	越谷市福祉保健オンブズパーソン	福祉保健オンブズパーソン	2024.12～2026.11	
3	越谷市自殺対策連絡協議会	会長	2024.10～2026.9	
4	日本心理臨床学会	広報誌編集委員会 委員	2024.6～2026.6	
5	東京都公認心理師協会	福祉領域世話人	2025.4～2026.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	社会福祉学専攻長		2025年4月1日～
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会 委員		2025年4月1日～
3	学科等における委員会等	基盤科目担当者会		2025年4月1日～
4	学科等における委員会等	カリキュラム検討WG		2025年4月1日～
5	大学広報活動	オープンキャンパス 専攻長説明		2025年6月・8月
6	学生支援	3学年学年担任		2025年4月1日～
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			